

保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2011年
11月7日(月)
第48号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

保育大集会に 5000 人。東京自治労連 から 761 人

「新システム」ノーの声響く

「新システムNO！国は保育に責任を！すべての子どもによりよい保育を！11・3大集会」が11月3日、日比谷野外音楽堂で開催されました。集会には沢山の子どもたちを含め会場一杯の5000人が参加、シンボルカラーの黄色で会場が埋まりました。東京自治労連は、昨年を100人上回る761人が参加しました。

集会では、野村自治労連委員長の開会挨拶のあと、「よりよい保育を！実行委員会」事務局長の実方さんが基調報告、500万署名を11月までに集めきり世論の力で新システム関連法案の国会提出を阻止しようと訴えました。好評だった東京からのウルトラクイズなどリレートークがあり、最後に「すべての子どもたちの幸せを実現するために、私たちにできることを全部やりきり、かつてない大きな運動を創り上げていきましょう」とのアピールを確認しました。

集会後は鍛冶橋までパレードで都民にアピールしました。



マリオン前 450 人で宣伝

集会の日の11月3日11時から、マリオン前・数寄屋橋交差点で「新システム」反対の宣伝行動が450人の参加で行われました。周辺は「新システム」反対一色の行動となり、道行く人が次々に署名して行きました。東京自治労連からは200人以上が参加しました。



11・3 自治労連 保育・学童保育闘争推進意思統一集会

集会終了後、東京駅近くの会場で、自治労連の保育・学童保育闘争推進意思統一集会が 16 時から開催され、128 人が参加しました。山口自治労連副委員長の主催者挨拶の後、海老名保育闘争委員会事務局長が情勢報告と行動提起を行いました。「新システム」成案をつくらせないたたかいとして、①政府・国会に向けた運動ー省庁前行動、内閣府要請を適宜配置、②自治体に向けた運動、③職場・地域での運動ーパンフを使った学習、宣伝・署名活動、署名を 11 月末締め切りに集めきる、12 月中旬全国一斉宣伝行動などを提起しました。

続いて、大阪、愛知、学童保育、岩手から発言、最後に高橋光幸保育部会事務局長の音頭で団結ガンバローで締めました。

11・2 政府・国会要請行動 350 人で展開

集会前日の 11 月 2 日、350 人の参加で憲政記念館で意志統一のあと、厚生労働省、文部科学省、総務省、内閣府、地方 6 団体、保育団体、衆参国会議員への要請行動が展開されました。

特に国会議員要請では、群馬選出の自民党議員、小沢議員と佐田議員が署名の束を受け取ったり、熊本選出の公明党議員が紹介議員 OK であつたり、山口選出の高村議員が署名を受け取り「党として紹介議員になれるかもしれない」と答え、安倍議員が党として出しますと答えるなど、これまでと様変わりした議員の反応が出てきています。

【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。配信希望者は氏名と所属、「保育闘争委ニュース希望」と明記し、パソコンよりメールでお申し込みを。内容を圧縮した「携帯メールニュース」は携帯からメールでお申し込みを】